

平成31年3月定例会一般質問表

3 / 11、12、13

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>1. 産業のまちづくり全般            —20世紀型から21世紀型の「観光」への対応—            地方を元気にするキーワードの一つが、「旅＝人の移動と交流」であります。しかし「観光」の概念や人々の観光行動は近年大きく変化しております。観光の語源は、中国『易経』の「国の光を観る、もって王に賓たるに利し」という一節に由来すると言われてしています。</p> <p>かつて観光における「光」は、観光名所や大規模観光施設でした。今、私たちが「光」と感じるものは、地域の生活文化、たとえば地域で何世代にもわたり受け継がれてきた食文化や味覚、伝承のまつりや民俗、歴史の物語、地域の産業遺産や産業文化といったものです。</p> <p>「観」のあり方も変わりました。地域の価値や魅力を細部まで味わい、体験し、交流し、そして学ぶことを楽しむような旅が求められています。新たな観光は、多様な価値体験や価値創造にかかわる機会となりました。これまでのビジネスモデルに安住することなく、新たな地域資源を発掘・編集し、新たな仕組みをつくり、その質を高め、活性化させることが必要となっています。</p> <p>このような視点から、本市における観光事業振興について伺います。</p> <p>(1) 観光客数の推移は。また、その要因をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 「南陽市観光基本計画」を、29年度から3カ年の計画期間で、南陽市観光推進会議において策定されました。「市としての方針を示し、市民全体のおもてなしの心を醸成し、官民地域一体となった事業の推進をはかる」とのことでしたが、2年が経過し、どのような具体策を講じられたのか、また、今後、講じられるのか。</p> <p>(3) 観光は、ヒト・モノ・情報の交流を通じて、市内のあらゆる産業と深く係わりをもち、広い範囲に経済波及をもたらすことができます。また、地域ぐるみの取り組みがあつてこそ、「観光地域ブランド」の形成が可能となり、強い競争力を持つことができる。つまり、観光は「地域の総合力が試される」のだと考えますが、観光ブランド係へ託す市長の思いは。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>(4) 現在の観光は、市民が何十年、何百年という長い歴史の中で、今日まで育てこられたもの。それが今の観光資源となっています。その活性化にむけた観光マネジメント力の強化が必要ではないか。行政が主体的に担うべき領域と観光協会の役割をどのように捉えているか。市長のご見解は。</p> <p>2. 外国人技能実習制度と特定技能制度に関する地方自治の取り組み</p> <p>外国人技能実習制度は、平成5年4月に創設された制度で、開発途上国等、諸外国の青壮年労働者を一定期間受け入れ、産業上の技能等の修得機会を提供する制度です。</p> <p>特定技能制度は、日本の労働力不足を解決する目的で、本年4月から始まります。この制度は「入管法」の改正であり、10年が経過すれば永住権が取得可能となりますし、特定技能2号では、「家族の帯同」が認められています。紛れもない移民政策であり、外国人の医療・教育・福祉等の問題は整理されておらず、多くの国民が納得していない現状と思われます。本年より両制度が並立することとなりますが、現在の技能実習制度においても制度疲労が生じている事象も見られます。その殆どが、国策上の問題ですが、地方自治に影響を与えている面もありますので市長のご見解は。</p> <p>(1) 現在、市内には外国人技能実習制度による外国人研修生は何人おられるか。</p> <p>(2) 当局で問題となっている事象はあるか。あれば、どのようなことか。</p> <p>(3) 技能実習制度と特定技能制度への今後の対応は。</p>	<p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	1 番 山 口 裕 昭  議 員	<p>1. 人口減少への対応策について</p> <p>市長は、平成31年度施政方針の中で「南陽市でも人口の減少が最大の課題であり、結婚、出産、子育ての希望を叶え、人口置換水準である「合計特殊出生率2.07」を実現していくことが地域の持続可能な発展につながる」と述べられているが、これを達成するための具体的対策について質問いたします。</p> <p>(1) 若者の定着促進のためにとる対応策は。</p> <p>(2) 若者が結婚をためらう理由の一つとして、収入面の不安が考えられるが、この解決策はあるのか。</p> <p>(3) 働きながら子育てを行うためには、そのための環境整備が必要だと考える。市でも各地区で積極的に環境整備を行っているが、現状での保育施設の充足率と今後の見通しは。</p> <p>(4) 子供世代や若者世代にアンケート調査を行うと、南陽市に今後も住みたい、または将来住みたいなどの回答が多いが、現状は若者が回帰し定着する比率があまり多くない。このミスマッチについて市ではどのように分析し対応を行うのか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	1 番 山 口  裕 昭  議 員	<p>2. 赤湯駅周辺の活性化について</p> <p>昨年3月定例会で赤湯駅周辺の活性化について質問を行いました。その際も、多くの観光客の方たちの最初に印象に残るものは「駅から降り立った時の街の姿」でありそこから見渡す景色であること。このため、赤湯駅周辺はまさに南陽市の顔であり市の大切な観光資源である赤湯温泉の印象を左右する重要なポイントであると提言を行いました。昨年12月には、国道13号から市内へ向かうドライバー向けに大型観光モニュメントが設置されましたが、この大型観光モニュメントは、南陽市のキャッチフレーズ「菊とぶどうといで湯の里」をモチーフとして作成され夜間のライトアップによる視覚効果も狙ったもので、これにより自動車で来られる観光客の方へのPRが効果的に行われるようになったと考えられることは非常に喜ばしいことですが、一方、赤湯駅は閑散とした状況が続いており対策が急務であると考えます。</p> <p>以上の状況を踏まえ、再度赤湯駅周辺の活性化策について以下の質問を行います。</p> <p>(1) 駅東口の周辺整備</p> <p>① 自動車で来訪される観光客向けに大型観光モニュメントが昨年末に設置されたが、赤湯駅正面にもそれと対をなすモニュメントがあることで「菊とぶどうといで湯の里」を更に観光客にアピールすることができるか。</p> <p>② 昨年の3月定例会でも同様の質問を行っているが、駅前から市役所やシェルターなんようホールに通じる市道は街路灯が少なく非常に暗い。整備については、関係機関との協議等も踏まえて広い視野での検討が必要との答弁だったが、その後の進捗はどうか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	7 番 片 平 志 朗 議 員	<p>1. 雇用対策の促進について 非正規雇用の不安定性を改善するために、平成25年4月から施行された「改正労働契約法」によって、有期雇用労働契約の労働者の場合は、同一の使用者ととの契約が繰り返し更新され、5年を超えた場合は「無期の労働契約」に転換できるようになった。しかしながら、無期化を回避するために、使用者は5年を超える直前に解雇しようとする問題が発生している。</p> <p>また、同じ問題で平成27年9月から改正労働派遣法が施行され、同一の事業所に対して派遣できる期間は3年が限度となり、3年を超えて労働させる場合には、派遣先が直接雇用するか、派遣会社の無期雇用に転換する必要がある。3年経過する前に解雇しようとする使用者が現れている。有期社員の「無期転換ルール」と派遣労働者の「派遣期間3年ルール」の雇用条件を改善するための法律が逆効果を生み出している。</p> <p>本市において、このような社会的雇用問題をどのように捉え、どのような施策を考えているのか何点かお伺いする。</p> <p>(1) 本市企業雇用における、非正規社員と派遣社員の現状は。(非正規社員と派遣社員の人数と割合等)</p> <p>(2) 雇用対策として取り組んでいる施策は。</p> <p>(3) 「働き方改革」の一環として労働基準法が改正されました。改正の内容は、時間外労働の上限規制、年次有給の取得義務、高度プロフェッショナル制度の創設等が主な内容となっております。今年の4月より順次施行される予定ですが、企業では、労使間で働くためのルールである就業規則の見直しも必要となってきます。労働基準法改正の周知徹底は。(改正のポイント含む)</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
3	7 番 片 平 志 朗  議 員	<p>2. 市営関口住宅の早期建て替えを求む  (この質問事項は平成23年9月定例会で質問している)  関口市営住宅は昭和45年～50年にかけて建設され、老朽化が進み住環境が極めて悪い状態であります。今は入居募集を中止されておりますが、行政側は居住者に対して安全安心な居住環境を提供していく必要があります。数年前前に建て替えを前提に、用地を先行取得して計画しておられたようですが、その後この用地は売却されております。一刻も早い建て替えを望む観点から、何点かお伺いします。</p> <p>(1) 計画がとん挫した理由は。</p> <p>(2) 今後の建て替えの計画は。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	15 番 佐 藤          明          議          員	<p>1. 消費税問題について</p> <p>(1) 安倍首相は10月から消費税を10%に増税するとの決意を表明されました。しかし経済の実態はどうか。深刻な消費不況が続き、貧困と格差が拡大しています。所得の少ない人に重くのしかかる逆進性を本質とするこの悪税にはもともと反対ですが、いまの経済状況のもとでの消費税増税は論外です。増税を強行すれば、消費不況はいよいよ深刻化し、貧困と格差拡大に追い打ちをかける破局的影響をもたらすことは必至であります。加えて複数税率導入にともなって、4年間の経過措置後に導入を予定されている「インボイス制度」にも深刻な問題があります。この制度のために、500万ともいわれる免税事業者が取引きから排除されたり、新たに納税義務と煩雑な事務負担を伴う課税業者にならざるを得なくなります。また、雇用契約がない請負労働者や建設職人などにも深刻な影響が生じます。「インボイス制度」の導入には、消費税増税に賛成の日本商工会議所を含めて、中小企業団体、商工団体がこぞって反対をしています。こういった状況の中で市の手数料、使用料を始め一般会計分、特別会計分、企業会計にかかる消費税はどの程度と試算されておられるか。</p> <p>(2) 消費税に対する市長の認識と考え方は。</p>	市 長





受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	13 番 田 中 貞 一 議 員	<p>1. 市政全般について</p> <p>(1) 人口減少歯止め政策</p> <p>(定住人口)</p> <p>① 各課を横断的に結んだ専門的課又は係を置き専門職員を配置して、強力に人口対策をあらゆる方向に向けて推し進めることにより、少しでも歯止めがなされると考えるがどうか。</p> <p>② 地価（宅地）が周辺自治体よりも高い現状がある。駅近辺に残っている場所が不足している。この現状を見れば当然土地利用計画を大幅に見直しすることが重要である。平成31年、32年で見直しする計画であるが、この先10年、20年を見据えての作成を進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>③ 移住者受入れ制度を条例化して、積極的な施策をとることにより、空き家（住居可能な）の有効活用が生まれると考えるがどうか。</p> <p>④ 産業団地向け予算も今回計上になっておりますが、働く場所の確保、交流人口の増大等に大きな期待をいたします。当然マスタープラン検討の中で場所の位置付け、面積等も決定なると思いますが、早急な対応を求めたい。また、スマートICとの整合性等も含めての検討を求めたいがどうか。</p> <p>(交流人口)</p> <p>⑤ 2020年福島市での野球、ソフトボール等の会場が決定したようだが、オリンピック大会に向けての誘客を早急な時期から始め、赤湯温泉への宿泊客増加に結び付けなければならないと考えるがどうか。</p> <p>⑥ 市内6社目のワイナリーができますが、国の6次産業予算、市の単独補助を入れる予算である。今後このワイナリーが稼動して生産販売するわけであるが、本市のその後の県内最多ワイナリー数をどのように政策に結び付けていかれるのか。</p>	市長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
5	13 番 田 中 貞 一 議 員	<p>2. 農業政策全般について</p> <p>(1) 本市農業振興計画が作成された。この計画を基本に進められると思いますが、市長の意気込みは。</p>	市 長
		<p>3. みらいトーク集約結果について</p> <p>(1) 複数の地区で高齢者の足の確保政策を求めている。沖郷地区での実証実験の結果が出ているが、90%以上が病院等への利用であった。今回の実験は、雪のない中で数字であるが、結果実績を見て、市長は今後どのような政策を考えているか。</p>	市 長